



西山の空

令和4年6月27日発行 第3号

柏崎市立西山中学校

<https://www.kenet.ed.jp/nishijhs/>

TEL 48-2150 FAX 48-2252

新たな学びを創る

校長 須藤 泰司

紫陽花が美しく咲く頃となりました。6月は上越地区大会があり、中学校における情熱の焦点となる月です。この大会に、今までの部活動に傾けてきた思い全てをぶつける3年生たち。県大会へ進む者が出る一方、引退を迎えた選手もいます。誰しも、いつか中学校の部活動が終わる時を迎えます。早いか遅いかではなく、「どう終わるか」。その終わりが大切です。一片の悔いなく終わることが出来たか、今までの努力を自分の中に自信として置き換えることが出来たか。そして、後輩たちに自分たちの思いをしっかりと伝え引き継ぐことが出来たか。支えてくれた全ての人への感謝を胸に、次は自分自身の進路実現と学校のリーダーとして充実した姿を見せるという目標に向かって、毎日を充実させることに期待します。

新潟県では、平成22年度から小中学校に対してweb配信問題を実施しています。始まった理由は、特に、小学校3、4年生の学力の定着が思わしくないこと、また新潟県の実態として学力の定着に**地域間格差や学校間格差**があるということから、受けたい全ての学校を対象に共通の問題を配信するという学力向上に向けた共通の取組を実施してきました。そのかいあって、**新潟県の小中学校の学力は全国平均と同等か少し上回る**ようになってきました。しかし、**思考力等を生かす問題について苦手な傾向がある**ということが分かり、「生きる力」と言われる、**思考力・判断力・表現力**を育成する問題へと変わってきました。文部科学省の学習指導要領が改定され今までの「何を教えるか」という考え方から、生徒自身が、何のために学ぶのか、また、それを学ぶことで「**どんな力が身に付くのか**」を明らかにして生徒自らの学びを創っていくよう、授業改善が行われています。知識を詰め込むという学習から、自ら考え、他者との対話を通して考えを広げ、さらに自分の考えを練り上げ深めていく、そうすることで、国際的な激しい競争の中、目まぐるしく発達する高度情報化社会で、**自ら未来を切り開いていく力を養う**べく、教育も変わったのです。

先日実施した第1回のweb配信テストは、正にその力を養う方向に舵を切っています。記憶した答えを吐き出すというより、読解力を生かし、頭の想像性・創造性を発揮し、大きな空欄を自分の考えで埋めていく、という問題が多いのです。そして画期的なのはテストを受けた後です。解答が配られ答え合わせをするのかと思っていると、解答は配られません。そして、いわゆる丸付けではなく、**グループで問題についての議論を始めたの**を見て、私は驚きました。テストの問題について、自分の答えを書いた理由をとうとうと語り合っているのです。**お互いに、「自分は、こうだ」「いや、私はこう思う」という議論**をし、答えを書けなかった生徒はそれらの議論にふむふむと頷いています。どの子もそれぞれに学びがある状況が創り出されていました。中学校では昨年「**主体的・対話的で深い学び**」のある授業改善に取り組んできていますが、web配信問題はテストでありながら、そのスタイルを上手に作り出しています。テストの出題ややり方が変わることで、こんなに子どもたちの学びが変わるということを示してくれたのです。こんな議論し合う場面が今後の授業の中で増えていくことを県は期待しています。

終わったばかりのテストだから、「**何が答えか知りたい**」と感じている彼ら。自然と議論が生まれていきました。仲間とともに正解を導こうとしている生徒たちを見て、とても嬉しくなりました。これは、本当に学力向上の良い手段であると感じました。webテスト後の取組だけでなく、「**答えを求めて議論する生徒たちの姿**」をどの授業でも行っていくことが学校の使命、と強く決意しました。

いつも通りのテストの姿



テスト後にうまれる議論

〈毎朝の様子より〉 一日のはじまりは、元気なあいさつから

西山中学校の毎日は、生活委員会の元気なあいさつからはじまります。これは生活委員の自主的な活動です。

「自分から先にあいさつ」「目を見てあいさつ」など、どうするとより気持ちが通じ合うあいさつができるか、テーマをもちながら意欲的に活動を進めていました。

この活動を通して、今まで以上に、いつでも、どこでも、だれとでもさわやかなあいさつができる西山中学校になっていくことでしょう。

なお、この活動の様子は動画に収め、二田小、内郷小との交流に活用していく予定です。他校の良さを認め合いながら、西山地区全体のあいさつが向上していくことが期待されます。



6月2日（木）人権擁護委員の皆様をお迎えし、生徒会の本部役員と共にさわやかなあいさつを交わしながら、パンフレット等を配布してくださいました。人権・同和学習は道德教育を含め、全教育活動で取り組んでいきます。



〈すこやかウィーク〉 ネット社会を安全に生きるために

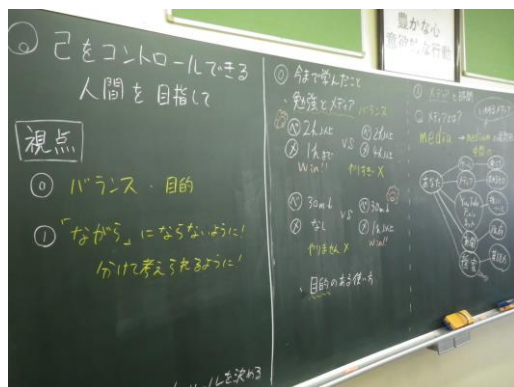
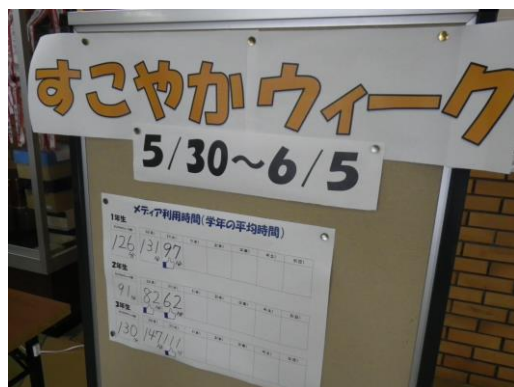
5月30日（月）から6月5日（日）、二田小、内郷小、西山中で連携して、生活習慣の見直しや改善を目指した「すこやかウィーク」を実施しました。

「メディアに関する我が家のルール」や早寝早起きなどの「生活習慣」を親子で決め、それをカードを使って毎日チェックしました。

また、西山中学校ではメディア利用に着目し、この期間に合わせて、道德でネットモラルや適切なメディア利用の意識の向上をねらいとした授業を全学年で実施しました。

年々SNSやインターネットを介したトラブルも増加しています。「自分の子どもは大丈夫」ではなく、ぜひ、「我が家のルール」の確認と、保護者監督の下での利用をお願いします。

「すこやかウィーク」は終わりましたが、これからも保護者の皆様と協力して、ネット社会を安全に生きるために、様々な情報を正しく見極め適切に利用していく力をつけることができるよう呼び掛けていきます。



〈避難訓練〉 消火訓練で実践的な力を！

6月7日（火）、火災を想定した避難訓練が実施されました。

警報の後に、避難指示が流れると、全校生徒はすみやかに移動し、体育館脇駐車場に避難することができました。

火災時の避難の留意点を確認したあと、練習用の消火器を用いて消火訓練を行いました。

火事や自然災害はいつ起こるかわかりません。いざというときに、適切な判断で避難する行動力を高めてほしいと思います。



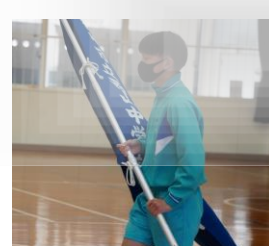
〈激励会〉 これまでの努力の成果を発揮するのは今！

6月13日（月）、地区大会激励会が行われました。入場行進のあとの決意発表では各部の代表が、堂々と大会に向けての意気込みを述べました。

選手代表の選手宣誓でも「今まで頑張ってきた成果を発揮し、あきらめずにやりぬきます」と力強い言葉がありました。

応援団からの熱い応援や、生徒代表による心のこもった激励の言葉もあり、西山中学校生徒がひとつとなって士気を高めることができました。

どの選手も緊張感をもちつつも、いい表情と立派な態度で臨んだ激励会。チーム一体となって、これまで培ってきた成果を大いに発揮してきてほしいと思います。



〈学校評議員会〉地域の皆様とともに、生徒の成長を目指して

6月17日（金）第1回学校評議員会が行われました。委員は各地区コミセン会長や主任児童委員などの有識者8名で構成されています。

前半は授業の様子を参観いただきました。後半の会議では、学校から昨年度の学校生活アンケートを用いた教育活動の振り返りと、今年度の学校運営などの説明をしたのち、委員の皆様からはメディアや校舎、部活動の取組、教育の支援体制に関することなど様々な貴重なご意見をいただきました。

何よりも、地域の皆様が西山の子どもの健やかな成長を願っていることを再確認させていただきました。日頃より地域の皆様に支えていただいていることに感謝申し上げます。

今後も西山を愛する生徒の育成を目指して教育活動を進めていきます。



「西山中学校のホームページをぜひご覧ください」

西山中学校のホームページでは教育活動の様子を随時紹介しております。ぜひ、右のQRコードにアクセスいただき、学校や生徒の様子をご覧ください。



7月の予定

※今後の状況によって、変更する可能性があります

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	金		17	日	新潟県中学校総合体育大会
2	土		18	月	海の日
3	日		19	火	
4	月		20	水	
5	火	高校説明会②（3年生）	21	木	体育祭結団式
6	水		22	金	休業前集会
7	木	個別面談	23	土	夏季休業（～8/24）
8	金		24	日	
9	土		25	月	
10	日		26	火	
11	月		27	水	
12	火		28	木	
13	水	租税教室（3年生）	29	金	
14	木	メディアに関する講演会（2年生）	30	土	
15	金	基礎テスト国語②	31	日	
16	土	新潟県中学校総合体育大会			

